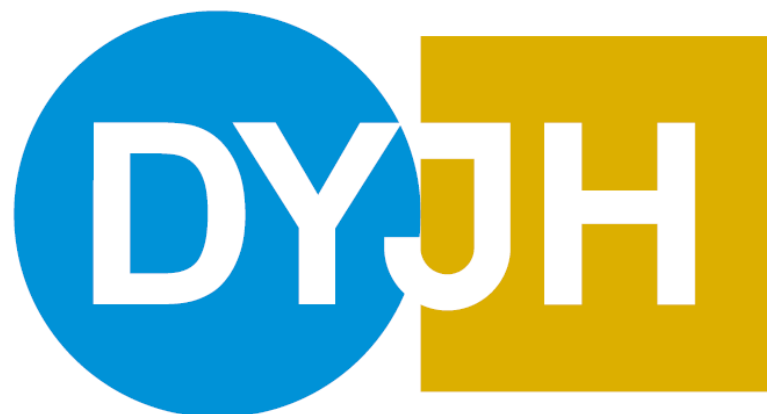




ダイナムジャパンホールディングス

2023年3月期 中間決算説明会
(参考和訳)

2022年11月25日

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

DYJHグループ企業組織図（2022年10月1日現在）

株式会社ダイナムジャパンホールディングス

パチンコ事業

航空機リース事業

株式会社ダイナム

パチンコホール経営。396店舗

夢コーポレーション株式会社

パチンコホール経営。31店舗

株式会社キャビンプラザ

パチンコホール経営。6店舗

ホール
4
3
3
店
舗
計

新店

（4月）ダイナム鹿児島伊集院店

（4月）YUMEYA浜松大柳店

株式会社ダイナムビジネスサポート

不動産賃貸及び管理、給与計算・会計管理業務の受託

株式会社日本ヒュウマップ

清掃事業及び飲食提供事業

株式会社ビジネスパートナーズ

障がい者の受け入れ、障がい者の雇用創出の為に設立

**Dynam Hong Kong Co., Limited
（大樂門香港有限公司）**

アジア圏での事業への投資

Dynam Aviation Ireland Limited

航空機リース事業

株式会社関東大同販売

株式会社ピーインシュアランス

株式会社AZ-GOLF

株式会社X-GOLF JAPANより社名変更（10月1日）

株式会社チングスハーン旅行は、株式会社ダイナム
ビジネスサポートに吸収合併（9月1日）

Erin International Co., Ltd.

北京吉意欧珈琲有限公司

Rich-O Korea Co., Ltd.

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	増減	前年同期比
営業収入	56,195	50,897	+5,298	110.4%
営業費用	57,264	49,208	+8,056	116.4%
営業利益	3,881	6,714	▲2,833	57.8%
中間利益	1,183	3,416	▲2,233	34.6%

パチンコ事業収入において増収を確保したものの、遊技機償却費の増加、電気代の高騰など営業経費の大幅な上昇により営業利益、中間利益は減益で着地。

2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	増減	前年同期比	概要
営業収入	51,905	47,222	+4,683	109.9%	
機械関連費用	12,779	4,715	+8,064	271.0%	遊技機償却費の増加
水道光熱費	3,289	2,340	+949	140.6%	電気代の高騰
人件費	17,469	18,920	▲1,451	92.3%	店舗運営人件費の削減
その他費用	17,689	18,552	▲863	95.3%	
営業外損益	648	1,848	▲1,200	35.1%	国からの雇用調整助成金受取額の減少
経常利益	1,327	4,542	▲3,215	29.2%	

※パチンコ事業の中核会社（ダイナム）の日本基準での中間決算数値

2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

項目	当中間期	前中間期	増減	概要
店舗数	396店舗	398店舗	▲2店舗	開店：鹿児島伊集院店 閉店：信頼の森群馬太田店、太田店、長野飯田店
パチンコ稼働率 （※①）	29.8%	29.9%	▲0.1pt	競合店差+2.4pt（※②）
スロット稼働率 （※①）	22.0%	25.1%	▲3.1pt	競合店差▲3.4pt（※②）
設置台数	186,113台	186,851台	▲738台	設置台数業界シェア 4.9%
P B機設置台数	15,741台	19,436台	▲3,695台	設置割合12.0%（前中間期差▲2.8pt）（※③）

※① 稼働率…ピーク時（15時及び19時平均）の[実客数／設置台数] 2022年4月1日～2022年9月30日の平均

※② 競合店の数値は全国のダイナム店舗近隣に所在する1,200店舗に対して実施する客数調査をもとに算出

※③ 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

【目次】

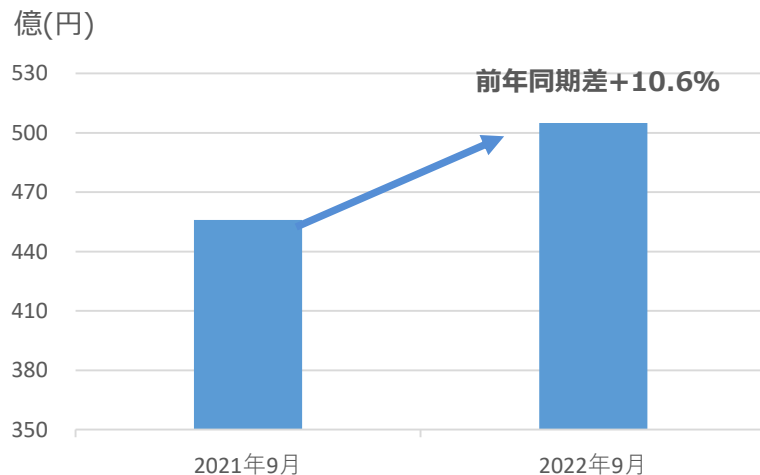
1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

3. パチンコ事業について

(1) パチンコ事業収入の推移

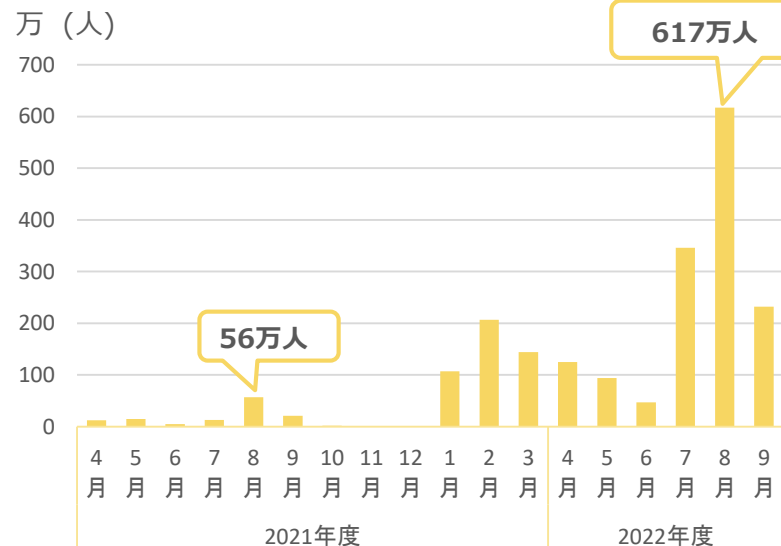
- パチンコ機における複数の人気機種在台頭や、スロット機における規制見直しに対応した新基準機の導入を積極的に進めたことによりパチンコ事業収入は大幅に増加。
- 新型コロナウイルスに対しては社会経済活動の正常化が図られつつあるなか、引き続き感染防止対策を徹底するとともに、2022年11月のスマート遊技機導入を商機としてさらなる収益力の向上に繋げる。

(DY) パチンコ事業収入



前年同期差 456.7億円→505.0億円 (+10.6%)

新型コロナウイルス国内感染者数



国内累計感染者数は大きく拡大したが、客足への影響は軽微

3. パチンコ事業について

(2) 次世代遊技機「スマート遊技機」の登場により、業界全体が活性化

●スマート遊技機とは

- ① メダルや玉に触れることなく遊ぶことができる遊技機。パチンコは玉が遊技機内で循環、スロットはメダルを使用せず、いずれも電子情報で計測され遊技をする。
- ② 設置情報や出玉情報が「遊技機情報センター」へ送付され一元管理される。



©SUNRISE/VVV Committee



2022年11月21日～

2023年春予定

●様々なメリットが発生

ユーザーのメリット	ホールの経費削減	業界の健全化
☐ 獲得出玉・メダルの規制緩和による遊技機スペックの大幅な向上 ☐ 玉・メダルレスとなることによる利便と感染症対策への安心感向上 遊技人口の増加期待	☐ 玉・メダルの持ち運び・洗浄が不要 ☐ ローコストオペレーションの推進 ☐ 島設備（補給機装置等）が不要 ☐ 新規店舗のインシャルコスト削減 ☐ 既存店舗のランニングコスト削減 店づくりの新しい可能性の広がり	☐ セキュリティ強化と不正遊技の撲滅 ☐ パチンコ依存問題対策の強化 業界の社会的信用の向上

3. パチンコ事業について

(3) 今後の成長戦略

- サービス品質の向上及び遊技環境改善に向けた取り組みを継続し、顧客ロイヤリティを高めることで、さらなる企業成長に繋げる。
- スマート遊技機に関しては早期に移行台数を増加させることで、競争優位性の確保、収益力拡大を目指す。

● [導入開始] スマートスロット : 2022年11月21日 ※スマートパチンコ : 2023年春予定

11月に3機種、12月に1機種が発売予定。
戦略的な機械導入により市場シェア拡大を企図。

● [部材不足への対応] 新型サンドへの早期移行

スマスロ対応の新設備(新型サンド)投資と、マスマリットを生かした部材の優先的確保により、スマスロへの早期完全移行を目指す。

● [中長期的な対応] 新しい店舗レイアウトの開発

補給装置等が不要となる事で、様々な店舗づくりの可能性を模索
例:小商圈への店舗展開や、遊技機の設置レイアウトの大幅変更等



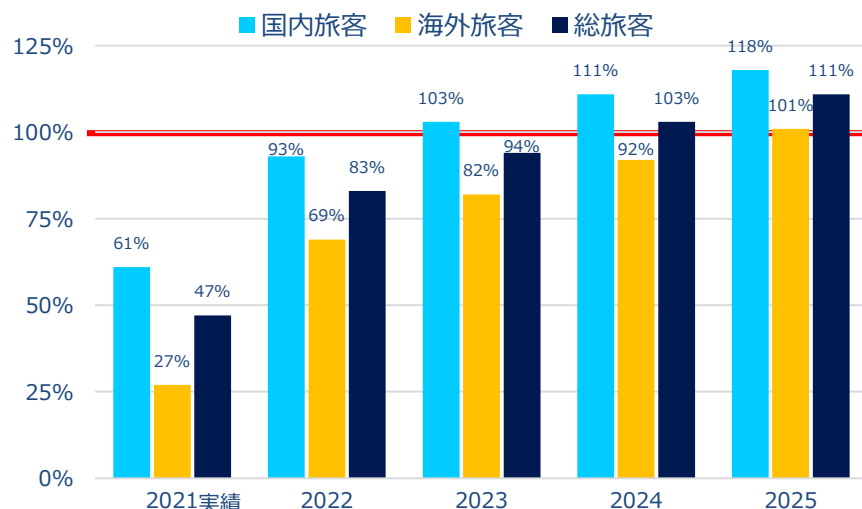
イラスト提供 株式会社メガクリエイト

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

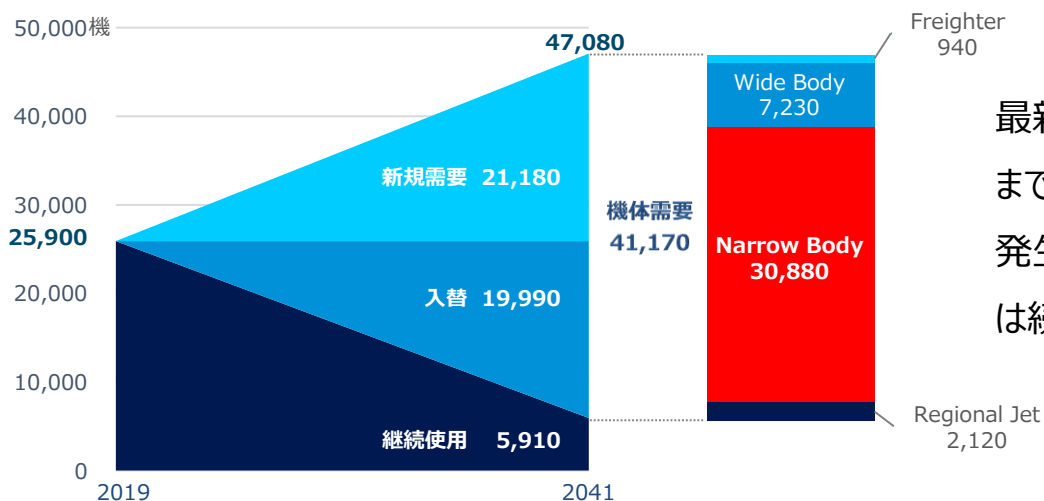
4. 航空機リース事業

<今後の旅客数予測（2019年基準）> IATA報道発表資料より



IATA（国際航空運航協会）によると、欧米を中心とした渡航制限の撤廃が旅客需要を後押ししており、総旅客数が2019年水準に戻るのは2024年と予測。

<今後20年間の航空機需要予測> 『Boeing Commercial Market Outlook2022-2041』より

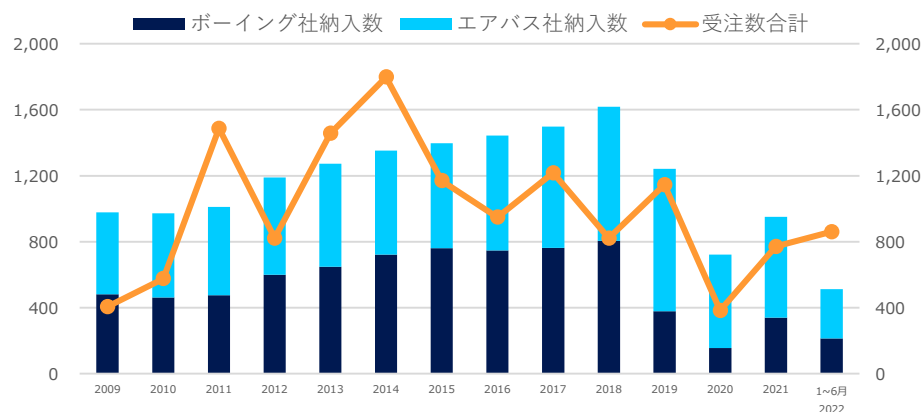


最新のボーイング社のマーケット見通しによると、2041年までにナローボディ機を中心に41,170機の新規需要が発生すると見込まれており、世界の航空機需要の拡大は続くと予想。

4. 航空機リース事業

<航空機の受注数・納入数>

一般社団法人 日本航空機開発協会「主要民間輸送機の実受・納入状況」より



受注数及び納入数は2020年をボトムに回復傾向。
胴体が長く座席数の多い長胴型のナローボディ機
(A321neoやB737MAX10) に発注が集中。

<発注数上位エアライン> (集計期間：2021年1月～2022年9月) ボーイング社及びエアバス社の発表資料を基に作成

エアライン	合計	ナローボディ機						ワイドボディ機
		A220	A320 neo	A321 neo	B737 MAX7	B737 MAX8	B737 MAX10	A350
ユナイテッド航空	270	-	-	70	-	50	150	-
デルタ航空	167	12	-	55	-	-	100	-
Wizz Air (LCC)	102	-	-	102	-	-	-	-
サウスウエスト航空 (LCC)	100	-	-	-	100	-	-	-
イーージェット (LCC)	56	-	56	-	-	-	-	-
カンタス航空	52	20	-	20	-	-	-	12
ウエストジェット (LCC)	42	-	-	-	-	-	42	-

4. 航空機リース事業

■ 当中間期末の状況



※現在のフリート：6機 2022年10月にA321neoを2機購入し、Wizz Air Maltaへリースを開始。

4. 航空機リース事業

■ Wizz Airとのセールアンドリースバック（SLB）取引について

- ・2022年10月、ハンガリーのLCC Wizz Airと航空機2機をSLB取引により購入する契約を締結。
- ・機体は2023年7月-12月にかけて順次引き渡しの予定。

■ 社内体制の強化

- ・テクニカル、リース管理、法務の責任者を採用し人員を拡充（ダブリン：6名）。
- ・リース管理の内製化推進など経営基盤の強化に向けた取り組みを進める。

4. その他事業～カジノ向けビデオスロットの開発～

■ マカオ市場

(単位：億円)

	2021年	2022年		
	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月
総粗利	2,766	2,577	1,232	805
前年比	87%	75%	33%	30%
コロナ前 2019年比	26%	23%	12%	8%

1MOP = 14.50円で算出

出典：DICJホームページ（マカオゲーミング管理部門）ゲーミングの月間総粗利の数値を基に作成

カジノ総粗利は2022年もコロナ前と比較し大きく低迷しており、4月以降は中国本土での感染拡大、更に6月以降はマカオでの感染発生に伴う規制強化により減少幅が拡大。

■ トピックス

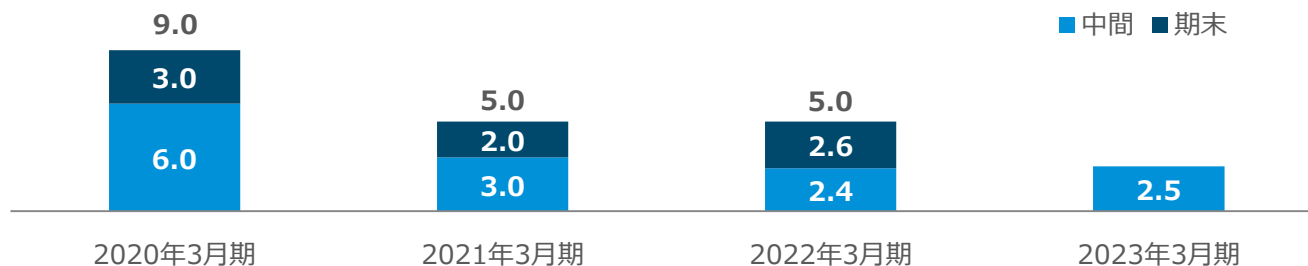
- ・ 2021年9月に改定されたマカオEGMテクニカルスタンダードバージョン2.0に対応し、2022年9月にDICJの承認を取得。
- ・ カジノ市場の回復が早いマレーシアにて、9月にトライアルを開始。
- ・ コロナ禍における消費者のデジタル活用の増加により、開発済みのゲームのオンライン転用などの検討を開始。

中間配当金 1株当たり配当金2.5円

■ 配当額

	当期中間配当	前期中間配当	前期期末配当
配当基準日	2022年12月13日	2021年12月13日	2022年6月6日
1株当たり配当金	2.5円	2.4円	2.6円
配当金総額	1,792百万円	1,756百万円	1,878百万円
配当金支払日	2023年1月13日	2022年1月12日	2022年6月24日

■ 1株当たり配当金推移（単位：円）



（参考）当中間期において、自己株式 5,317,800株（発行済株式の約0.7%）の市場買付を実施。

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

5. 財務概況

連結損益計算書 (IFRS)

(単位：百万円)

	当中間期 (2022/9)	前中間期 (2021/9)	増減	補足説明
営業収入	56,195	50,897	+5,298	
パチンコ事業収入	55,150	50,139	+5,011	高貸玉店舗 27,059(+2,377) 低貸玉店舗 28,091(+2,634)
航空機リース事業収入	1,045	758	+287	
パチンコ事業費用	52,246	44,791	+7,455	遊技機償却費の増加 +8,366 店舗運営人件費の減少 ▲1,387 水道光熱費の増加 +1,025
航空機リース事業費用	669	464	+205	
一般管理費	2,048	2,004	+44	パチンコ事業、航空機リース事業以外の会社運営経費
その他収入	4,950	5,025	▲75	雇用調整助成金等受取額の減少 ▲1,324(1,524→200) 店舗立退補償金 +817 (リニア中央新幹線：DY長野飯田店)
その他費用	2,301	1,949	+352	固定資産除却損失の増加 +833 店舗減損損失の減少 ▲301
営業利益	3,881	6,714	▲2,833	
金融収益	173	156	+17	
金融費用	1,736	1,284	+452	
税引前中間利益	2,318	5,586	▲3,268	
中間利益	1,183	3,416	▲2,233	
EBITDA	7,896	11,187	▲3,291	

(注) EBITDA は、中間利益に金融費用、税金、減価償却費(遊技機償却費及び使用権資産償却費を除く)、為替差損益を加えて計算しております。

5. 財務概況

連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	当中間期末 (2022/9)	前期末 (2022/3)	増減	当中間期末の主な内訳・前期末からの増減等			
				科目	当中間期末	前期末	増減
資産合計	301,416	293,421	+7,995	有形固定資産	129,380	118,648	+10,732
				使用権資産	73,729	73,850	▲121
				現金及び預金	56,927	56,508	+419
				繰延税金資産	10,411	10,964	▲553
				リース債権	8,348	8,460	▲112
負債合計	168,467	162,439	+6,028	リース負債	89,153	89,262	▲109
				未払金・未払費用	12,125	12,312	▲187
				有利子負債	48,849	43,141	+5,708
資本金	15,000	15,000	-				
剰余金等	117,949	115,982	+1,967	中間/当期利益	1,187	4,997	▲3,810
				前期期末配当支払額	▲1,878	▲3,261	+1,383
				自己株式の取得・消却	▲641	▲3,187	+2,546
				その他の中間包括利益等	3,299	461	+2,838
資本合計	132,949	130,982	+1,967	連結自己資本比率	44.1%	44.6%	▲0.5
負債及び資本合計	301,416	293,421	+7,995				

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

（単位：百万円）

【連結有利子負債】

	当中間期末 (2022/9)	比率	前期末 (2022/3)	比率
現金及び預金	56,927	18.9%	56,508	19.3%
有利子負債合計	48,849	16.2%	43,141	14.7%
有利子負債(日本法人)	32,315	10.7%	32,945	11.2%
有利子負債(海外法人)	16,534	5.5%	10,196	3.5%
ネットキャッシュ	8,078	2.7%	13,367	4.6%
資産合計	301,416	100.0%	293,421	100.0%

航空機リース事業にて、新造機1機の購入等があり、ネットキャッシュは5,289百万円減少。

【連結自己資本比率】

	当中間期末 (2022/9)	比率	前期末 (2022/3)	比率
資本金	15,000	5.0%	15,000	5.1%
剰余金等	117,949	39.1%	115,982	39.5%
資本合計	132,949	44.1%	130,982	44.6%
資産合計	301,416	100.0%	293,421	100.0%

基幹会社ダイナムの概況（日本基準で決算実施）

（単位：百万円）

	当中間期 (2022/9)	前中間期 (2021/9)	増減	補足説明
遊技業収入	50,497	45,675	+4,822	前年同期比増減 P : +5,508 S : ▲686
自販機手数料収入	1,408	1,547	▲139	
販売費及び一般管理費	50,765	44,786	+5,979	機械関連費用+7,344 水道光熱費+949 人件費▲1,451
営業利益	1,140	2,436	▲1,296	
経常利益	1,327	4,542	▲3,215	
特別利益	818	-	+818	長野飯田店 補償金受取817
特別損失	242	192	+50	
中間利益	1,226	2,878	▲1,652	

	当中間期末 (2022/9)	前期末 (2022/3)	増減	補足説明
総資産	122,985	124,929	▲1,944	流動資産▲952 固定資産▲992
負債	35,462	36,678	▲1,216	借入金▲2,836 未払消費税等+1,363
純資産	87,523	88,251	▲728	中間利益1,226、親会社への配当支払▲1,953
自己資本比率	71.2%	70.6%	+0.6	

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株) ダイナムジャパンホールディングス 財務・広報グループ

mail : info@dyjh.co.jp